

EA121BC(スプレーガン) 取扱説明書



株式会社 エスコ

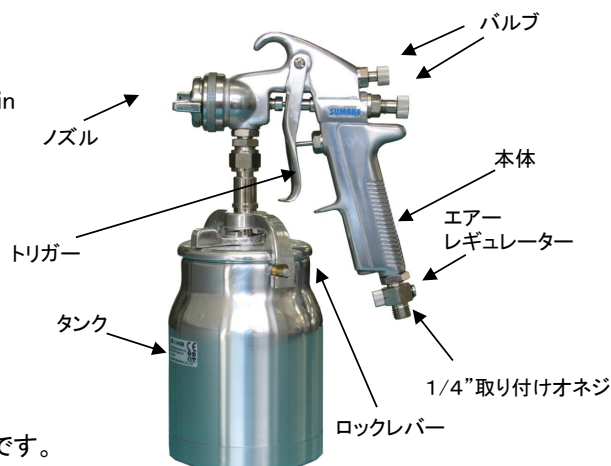
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号
TEL(06)6532-6226 FAX(06)6541-0929

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全にご使用頂きますためにも、取扱説明書をよくお読み頂き

◆ 仕様

- ・重量・・・1270g
- ・エアー消費量・・・200～400L/min
- ・使用圧力・・・0.2～0.5MPa
(2～5kg/cm²)
- ・ノズル径・・・φ 1.6mm
- ・カップ容量・・・1000cc
- ・取り付けネジ・・・1/4"オネジ
- ・使用コンプレッサー・・・1.5kw
- ・全高・・・290mm
- ・長さ・・・175mm
- ・タンクサイズ φ 105 X 150mm
- ・エアーレギュレーター付

※ロックレバーでタンクの脱着が簡単です。



● エアー

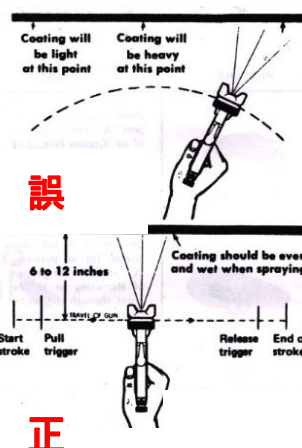
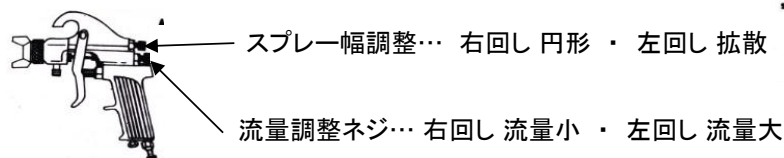
コンプレッサー、配管内のゴミや水分を除去するため、フィルターなどを取り付けてください。

● スプレーガンの操作方法

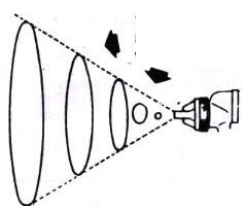
仕上げを良好なものにするためには、スプレーガンの正しい操作方法を知る必要があります。まず、スプレーガンを吹き付ける方面に対して、垂直に構えます。そして、吹き付けるときは平行に動かしてください。

ストロークの仕方は、トリガーを引く前から開始してください。逆に、ストロークが終わる前にトリガーを離すのがコツです。

ガンと対象物との距離は、状況によりますが約15cmから30cm程がよいと思われます。塗りたての対象物は、いつも滑らかで湿った状態です。以前に塗ったストロークに塗り重ねますと、むらのない仕上げが得られます。(塗りすぎを防ぐためには、空気圧は低めのほうがよいと思われます)

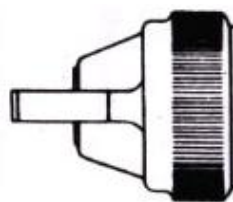


スプレー調整を増やしていくと、塗り面積を増やし、カバーするのと同じ量のペイントが必要になります。



・スプレーのパターンは、円形から平面まで、色々なものを作り出せます。

・通常操作は、右図のようにウイングを水平にしてください。
パターンは垂直に拡散し、滑らかでむらのない仕上げをします。
仕上げる面に対して、前後、平行にガンを動かしてください。



● サイフONSプレーの方法

ラッカーを塗るときは空気圧は0.35MPaにし、エナメルを塗るときは空気圧0.42MPaに設定してテストスプレーして下さい。スプレーが細かすぎるときは、空気圧を減らすか流量調整ネジをより開いて下さい。スプレーが荒いときは、流量調整ネジを絞り、必要であれば、パターンの微調整を繰り返して下さい。

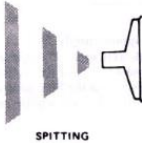
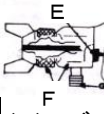
● プレッシュアースプレーの方法

適正なオリフィス(穴)の選択後、希望する流量の圧力を設定し、テストスプレーして下さい。スプレーが細かい時は空気圧を減らし、スプレーが荒い時は空気圧を上げて下さい。パターンの微調整を繰り返して下さい。

(流量調整ネジを全開の位置にしておけば、内部部品であるニードルの摩耗を抑えます)

※ 塗りすぎを防ぐためには、空気圧は低めのほうがよいと思われます。

● パターン失敗例と対策方法

失敗パターン	症状	対策方法
	サイドポートAを乾いたペンキがふさぎ、空気の流れを制限してしまっています。 本流がサイドポートBの流れだけになりますのでパターンが偏ります。	シンナーでサイドポートに固まったペンキを溶かしてください。 絶対に穴を金属の針などで突かないでください。
	ノズルチップにある、“C”の穴の周りに乾いたペンキが付着し、エアーノズルの穴をふさぎ、圧力空気の流れを悪くしています。 また、エアーノズルの緩みによっても発生します。	エアーノズルを外して、シンナーを少し浸した布でチップ拭いてください。
	スプリットスプレー、あるいは中央が途切れてしまう塗装パターンについて (1) 空気圧が高すぎる (2) 薄い塗料で広すぎる面積に吹き付けようとした。	(1) の場合、空気圧を減らしてください。 (2) ペンキの流れ込む量を増やして、スプレー調整ネジを右に回して下さい。 塗装面は小さくなりますがスプリットパターンはなくなります。
	(1) ニードルバルブの周りにペンキなどが固着し、空気が流体バルブの方に流れ込んでします。 (2) ノズルと本体のシート部分が汚れている。 あるいはノズルの締まりがゆるい。 (3) サイフォンカップのスイベルナットの締まりがゆるい。	 (1) Eのナットを後退させます。 取り外しオイルをさして、手で締め直してください。 ひどい場合は取り替えてください。 (2) ノズルFをはずし、シンナーに浸した布できれいに清掃してください。 (3) スイベルナットをしっかりと締めてください。

● メンテナンス

1. タンクのサイフォン部分と、ガンの接続部分だけ、溶剤に浸してください。
2. 固着したペイントは固めのナイロンブラシ等と溶剤で落としてください。
3. 本体を溶剤に漬け込まないでください。
 - a. パッキンのオイル分が溶けてなくなりパッキンが乾くから
 - b. 本体表面のコートが溶けてなくなり、本体の劣化が早くなる。
 - c. 汚れた溶剤で空気穴がふさがってしまう。
4. 溶剤に浸した布でガン本体の汚れを拭き取ってください。
5. ガンに注油してください。(下記部分)
 - a. ニードルパッキン部分
 - b. エアーバルブパッキン部分
 - c. トリガーピヴォット
 流量コントロールスプリングにワセリンを塗布してください。
6. シロコンの詰まった箇所には注油しないでください。(この箇所への注油は仕上げに支障をきたします)

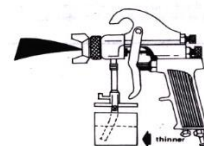
スプレーガンの各パーツは、初期は手締めされています。これはネジ山つぶれを避けるためですので、手締めで組立がうまく行かないときは、もう一度部品を確認して組み立て直して見てください。

● エアーノズル、流体ノズル、ニードル組立部分について

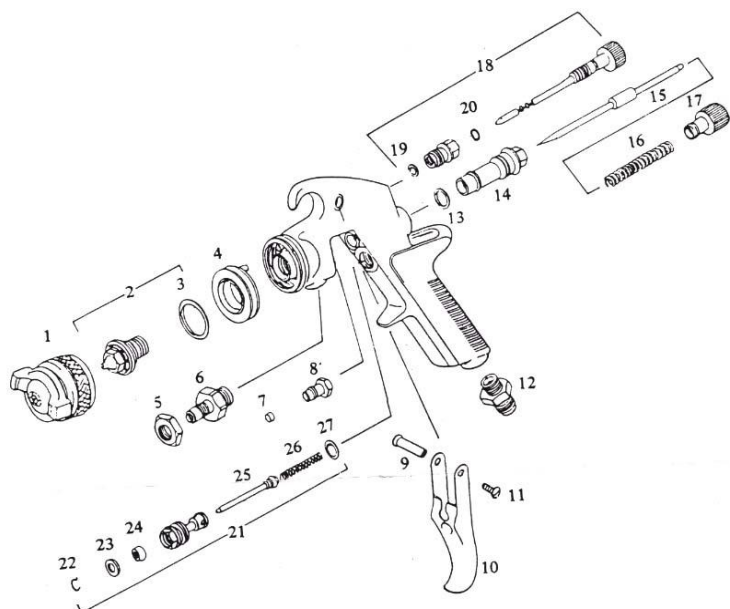
1. ノズルとニードルは精密部品です。充分に注意して取り扱ってください。
2. 仕上げに影響が出ますので、5以外の部品交換はしないでください。
3. ノズルの清掃は、付着したペンキを取り除くため、溶剤に浸してください。
その後は溶剤をきれいなエアーで吹き飛ばしてください。
4. ノズルの穴には、金属の棒などを突っ込まないでください。
使用する場合は、真鍮よりも柔らかい素材を使用してください。
5. トリガーを引く前に、流量調整ニードルバルブを調整してください。

サイフォンカップを使用の時

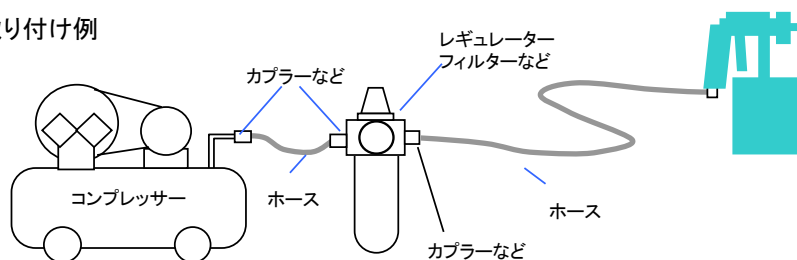
シンナーか溶剤を入れた器に、ガンのサイフォンノズルを差し込んでください。
トリガーを数回引いて、ニードルなどを清掃します。



(参考図)



● 取り付け例



* オイルフィルターなどはエアークOMPRESSORのそばに設置しないでください。

* エアのラインからも、排水できるようにしてください。



爆発する可能性のある環境下での使用はやめてください。

充分換気された場所でのみご使用ください。



作業中は必ず、防護メガネ、防護マスク、手袋を装着してください。

本体に限度を超える圧力をかけないでください。

絶対に人や生き物に向けて使用しないでください。



安全上の注意

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。
説明された用途以外の使用は厳禁です。

- ・作業場の照明は充分明るくしてください。
- ・作業場には子供を近づけないでください。
- ・無理な使い方はしないでください。作業にあったエアーツールを使用してください。
- ・作業時は作業に適した服装をしてください。
- ・作業時には必ずゴーグルとマスクを併用してください。
- ・加工物をしっかりと固定し工具を使用してください。手で加工物を保持すると危険です。
- ・作業工具は注意深く手入れをしてください。エアースホース、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保ってください。
- ・次の場合はスイッチを切りエアースホースを外してください。
 - ① 塗料を入れるとき ② 作業終了時 ③ 異常を感じたとき
- ・エアーツールを運ぶときは、エアースホースを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- ・エアーツールを使用するときは、取り扱い方法、作業方法、周りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- ・作業前には、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に、異常、損傷がないか確認して